

令和6年度
臨時記者会見
令和6年10月11日（金）

むつ市長の62ちゃんねる YouTube



一部事務組合下北医療センター
むつ総合病院
mutsu general hospital

オンライン診療について



オンライン診療について

現在

毎月弘前大学に受診

1月

2月

3月

4月

⋮



導入後

2か月に1回弘前大学に受診

むつ総合病院



弘前大学



1月

2月

3月

4月

⋮



オンライン診療



オンライン診療



弘前大学への受診が年6回に！

オンライン診療について

【1回の通院で】

片道3時間往復で6時間の移動時間

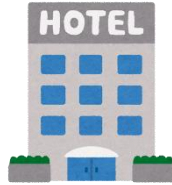
前泊で1泊8,000円とした場合、12月で

現在

【交通費】 108,000円

【宿泊費】 96,000円

【通院時間】 72時間



約20万円の出費
72時間の通院

付き添い家族もいると費用は倍増、休暇の申請も必要

負担の比較 【むつから弘前大学まで】

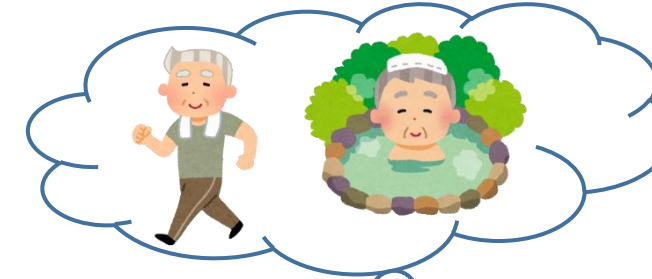
導入後



【交通費】 54,000円

【宿泊費】 48,000円

【通院時間】 36時間



弘前大学への受診は2か月に1回で済むため

費用・時間は2分の1



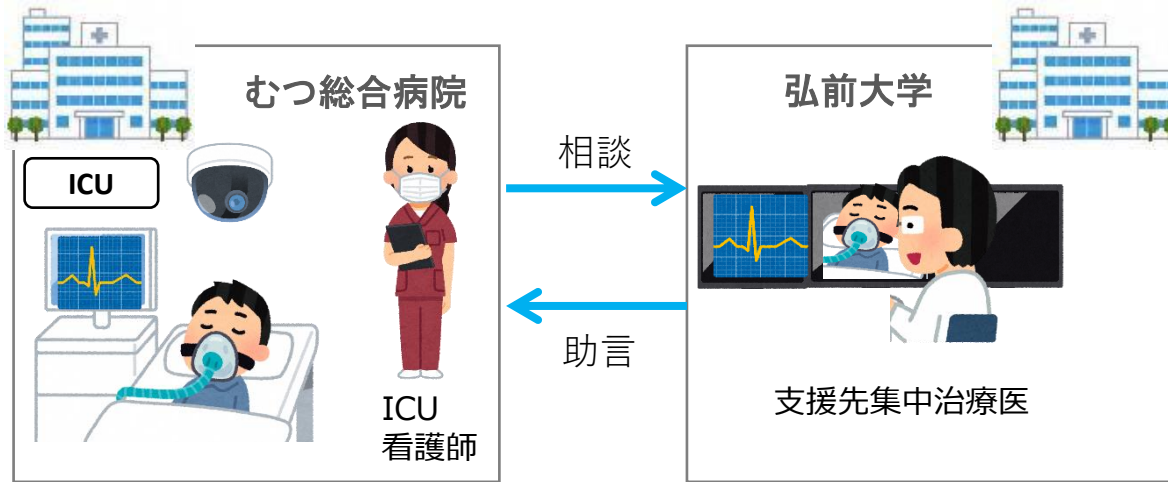
【メリット】 患者及び家族の受診に係る身体的、精神的、経済的負担軽減

遠隔診療支援について



遠隔診療支援について

②遠隔ICUによる重症患者管理



【課題】

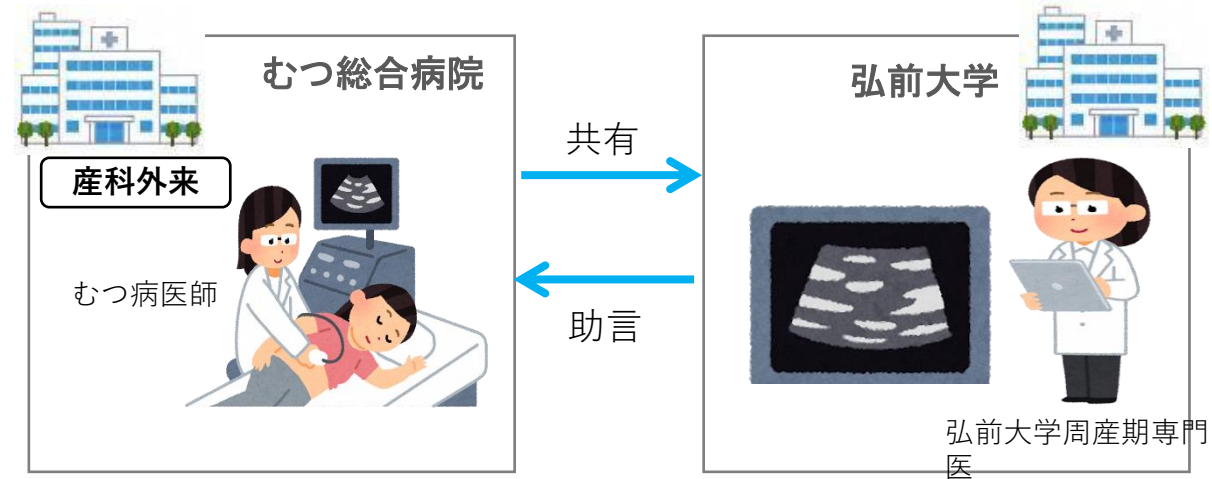
- ・ 集中治療専門医の不在
- ・ 休日、夜間における患者急変時の主治医対応

導入により



- ・ 支援先集中治療医による迅速な助言、ICU看護師による処置実施

③遠隔妊産婦管理



【課題】

- ・ 周産期専門医の不在
- ・ 超音波検査により、胎児異常が疑わしい患者については全て高次医療機関に紹介している

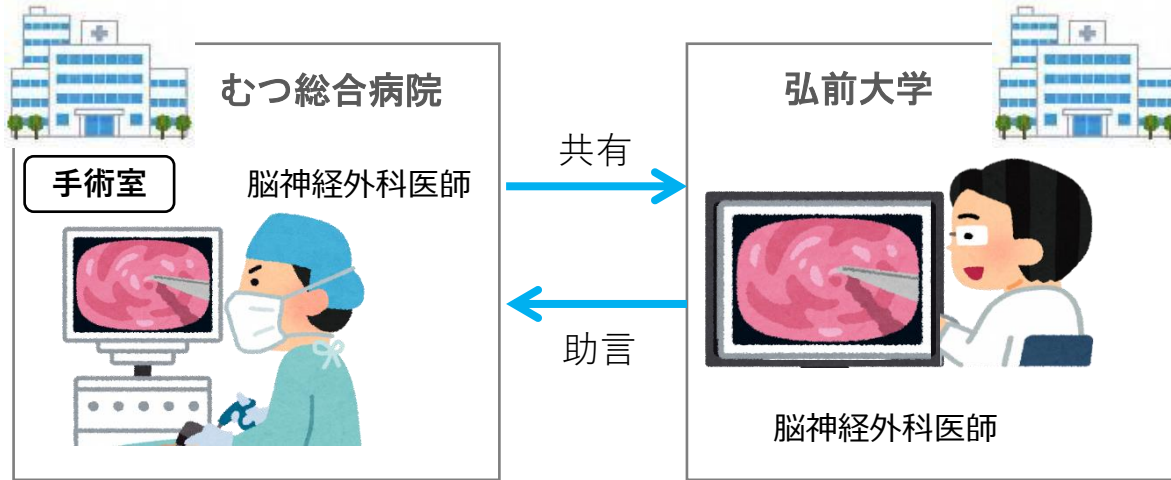
導入により



- ・ 専門医とリアルタイムでのエコー画像共有による診断の実施、高次医療機関への紹介件数減少

遠隔診療支援について

④遠隔脳神経外科手術支援



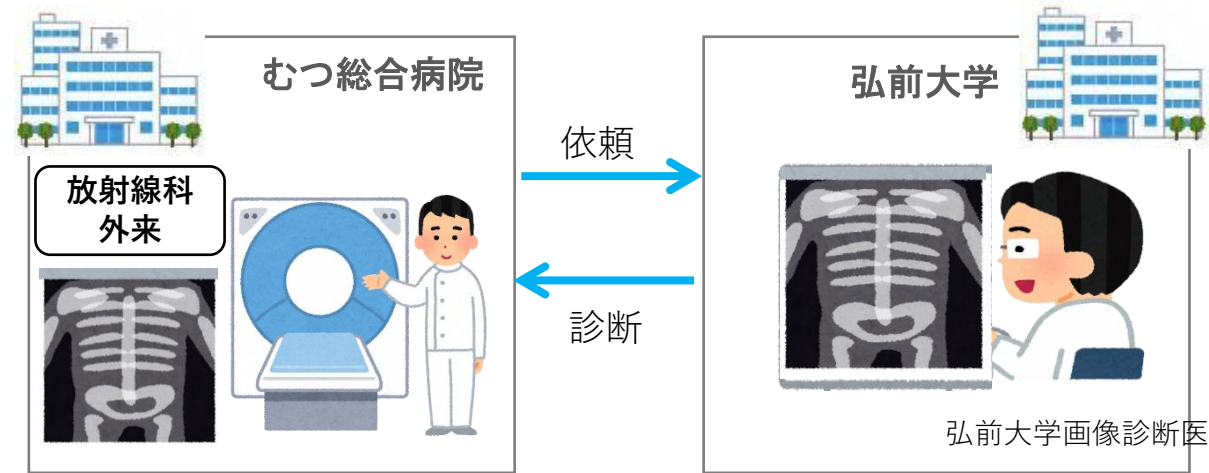
【課題】

- ・脳神経外科医師1人のみの勤務体制

導入により

- ・弘前大学医師とリアルタイムでの手術画像共有による手術の実施、医師の手術負担軽減

⑤遠隔画像診断



【課題】

- ・放射線科医師1人のみの勤務体制

導入により

- ・専門医と画像共有し、迅速な診断の実施、医師の画像診断負担軽減

②～⑤の遠隔支援を行うことにより、

専門医不在の解消、医師の勤務負担軽減、医療の質向上を図る